研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：周術期消化器がん患者の在院日数に影響する因子の検討
研究期間：西暦 2024 年 6 月 3 日～2024 年 11 月 24 日
対象材料： □病理材料（対象臓器名：　　） □生検材料（対象臓器名　　） □血液材料 □遊離細胞 ■その他（診療録） **上記材料の採取期間：**　西暦 2022 年 4 月～2024 年 5 月
意義： 消化器がんの術後は在院日数が長期化すると日常生活動作(Activities of daily living：ADL)を低下させることが報告されている。在院日数に関する因子を報告している先行研究では、手術部位別を対象とした報告や因子を限定的に検討した報告は散見されるが、周術期消化器がん患者全体を対象とし、あらゆる側面の因子から在院日数への関連を検討している報告は渉猟し得た限りではわずかである。在院日数に影響する因子が明らかとなれば、在院日数の長期化を予測でき、リハビリテーション介入によって改善が見込まれる因子であれば ADL 低下の予防に繋がると考えられる。
目的： 周術期消化器がん患者の在院日数に影響する因子を検証すること
方法： 当院の患者データベースおよび電子カルテより後方視的に通常診療の範囲内で得られる患者基本情報や医学的情報、治療経過、リハビリテーション経過を診療録より収集する。
個人情報の取り扱い： 患者の個人情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用する。また、研究成果を理学療法関連学会で発表するが、患者様個人を特定できる個人情報は含まない。
問い合わせ・苦情等の窓口： 〒７５０－８５２０ 山口県下関市向洋町一丁目１３番１号 下関市立市民病院　リハビリテーション部　理学療法士　阿部　小夏 TEL　０８３－２３１－４１１１　　FAX　０８３－２２４－３８３８